

せきぞうこやすじぞうぼさつりゅうぞう
「石造子安地藏菩薩立像」

- 指 定 千曲市指定有形文化財（彫刻） 昭和 62 年 1 月 27 日
- 所 在 地 千曲市大字上山田 2698 番地 1 の先
- 所 有 者 個人
- 概 要 石造物（石英斑岩）
寸法：像高 92 cm 頂上顔 16 cm 面幅 10 cm 面奥 13 cm
胸厚 11 cm 肩張 20 cm 裾張 22 cm 裾奥 22 cm
- 時 代 室町時代末期
- 銘 文 等 像右側面に「大日如来」、左側面に「教覚法印」（後世の追刻）
- 公 開 いつでも可

石英斑岩の丸彫りの立像です。円頂で袖衣そでころもをまとって袈裟けさは明らかではありません。右側に錫杖しゃくじょうを彫り出していて、左手は宝珠ほうじゆではなく、左右の手で胸に嬰兒みどりごを抱えています。嬰兒は裸で左向き、嬰兒の彫は粗雑で細部は明らかになりません。

全体の風化が進んでいますが、十分に全体像をうかがうことができ、室町末期のものと推定されます。

昭和 20 年代になって道路拡幅のため、現在地に移転したとのこと。

